

近年の研究紹介

寺西 雅子(那須雅子) 研究室 2016. 2. 19

20 世紀モダニズム作品の文体論的研究

20 世紀のイギリス・モダニズム文学を中心に様々なテキストを文体論的アプローチから分析・考察してきました。特に斬新な物語手法を試みながら、語りの構造や視点などを駆使して人間の意識世界はもちろん無意識世界を文字芸術の世界に取り入れようとしたヴァージニア・ウルフについて長年研究しています。

Is it disappointing ‘Isabella was perfectly empty’?: A stylistic analysis of Virginia Woolf’s *The Lady in the Looking-Glass: A Reflection*, Poetics and Linguistics Association, Heidelberg University, August 1st, 2013.

‘One must become externalised’: Virginia Woolf’s Creative Processes for Inner Presentation, *PERSICA*, Vol.40. 25-36. 2013.

From Individual to Collective: A Stylistic Analysis of Woolf’s Developing Concept of the Presentation of Consciousness. Ph.D. Dissertation, Okayama University, 2010.

文学教材を用いた英語教育

また、英語教育における文体論の位置づけや、英語力向上のための文学テキストの役割に関する研究も行っています。この研究では、英語を中心とする外国語学習者の学習履歴を語ってもらうインタビューを実施し、「オーラルヒストリー」の編纂に取り組んでいます。

‘Literature and the role of background knowledge for EFL learners’, in *Scientific Approaches to Literature in Learning Environments*, In M. Burke, O. Fialho, S. Zyngier (eds.), Amsterdam: John Benjamins, 2016.

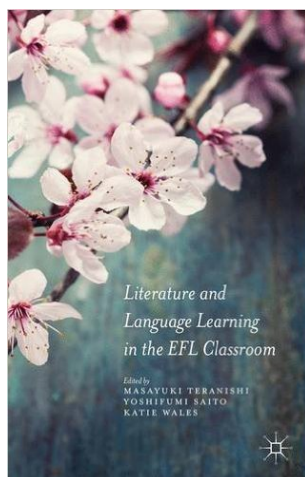
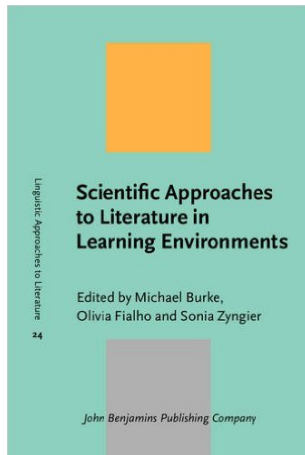
「オーラルヒストリーから見える外国語学習における文学の役割」、日本英文学会第 88 回大会シンポジウム「英語力向上と文学教材——バランスの取れた授業実践を目指して」2016 年 5 月 29 日 (予定)

‘The Role of Literature in Learning’ in *Literature and Language Learning in the EFL Classroom*, In M. Teranishi, Y. Saito, & K. Wales (eds.), Basingstoke: Palgrave Macmillan, 2015. 229-247.

The Role of Stylistics in Japan, Poetics and Linguistics Association, *Language and Literature* 21(2), 226-244, 2014.

「外国語学習の「達人」に学ぶ」、日本国際教養学会第 3 回全国大会、2014 年 3 月 16 日

「文学力を表現力へー詩と俳句を教材として」、寺西雅之、那須雅子、『文学教材ハンドブックー英語教育を活性化するー』英宝社、43-52、吉村俊子他 6 名編、2013 年



受験生へのメッセージ

英語の文体や語りの構造に興味のある方、文体論的立場からテキストを分析し論じていきましょう。また文体論を活用した英語教育や外国語学習に関する「オーラルヒストリー」に興味のある方、文学と英語教育の接点を研究してみましょう。